

富津市社会教育委員会議 会議録

1	会議の名称	令和5年度第2回富津市社会教育委員会議
2	開催日時	令和6年3月7日(木) 午後2時00分～午後3時00分
3	開催場所	富津市役所5階 503会議室
4	審議等事項	議事 (1) 第2次富津市子ども読書活動推進計画(案)について 報告 (1) 第58回千葉県社会教育振興大会 (2) 第54回関東甲信越静社会教育研究大会 栃木大会 (3) 第58回君津地方社会教育推進大会 (4) 令和6年富津市二十歳の集い
5	出席者名	○出席委員 宮内和男、嶋野利郎、大野泰代、高橋栄二、杉田玲子、石井喜美子、佐藤泰代 ○事務局 岡根教育長、平野教育部長、樋口生涯学習課長、長谷川公民館長、吉村社会教育係長、伊藤社会教育主事
6	公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	
8	傍聴人数	0人(定員10人)
9	所管課	教育部生涯学習課社会教育係 電話 0439-80-1345
10	会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

「令和5年度第2回富津市社会教育委員会会議」会議録

発言者	発言内容
<p>事務局 (樋口課長)</p>	<p>それでは定刻となりましたので、始めさせていただきます。 本日はご多用の中ご出席頂き誠にありがとうございます。 会議の進行を務めます、生涯学習課長の樋口です、よろしく お願いいたします。 会議に先立ちまして事務局から配付資料の確認をさせていただきます。</p>
<p>事務局 (吉村係長)</p>	<p>○会議資料 机上配付：次第、委員名簿、座席表 事前配付：第2次富津市子ども読書活動推進計画（案） 追加資料：目標指標の実績・目標となる指標（新旧対照） 参考資料：(1)第58回君津地方社会教育推進大会 (2)第54回関東甲信越静社会教育研究大会 (3)第58回君津地方社会教育推進大会 (4)令和6年二十歳の集い出席者数集計表</p>
<p>事務局 (樋口課長)</p>	<p>[開会] それでは、ただ今から令和5年度第2回富津市社会教育委員 会議を開会いたします。 はじめに、本日の委員の出席状況を報告させていただきます。 出席委員は7名、欠席委員は4名です。 従いまして、過半数のご出席をいただいておりますので、 富津市社会教育委員会会議運営規則第3条第5項の規定によ り、会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。 次に、会議の公開についてですが、本会議は富津市情報公 開条例第23条第1項の規定により公開することとなっております ので、傍聴者の受け入れ体制を整備し、会議の議事結</p>

果を公表します。なお、本日傍聴者はいないことをご報告させていただきます。

また、会議録作成のため録音させていただきますのでご了承願います。

それでは、次第に従って進めてまいります。

はじめに、高橋委員長からご挨拶をお願いいたします。

[委員長あいさつ]

高橋委員長

本日はお忙しいところご出席いただきありがとうございます。現在、図書館にどれくらいの人 coming いるか、当初は10万人を目標としていたところ、9月に10万人を超えていますので、おそらく15万人は超えているだろうと思います。詳細はまた事務局から説明があると思います。それから、昨年6月26日の第1回定例会議で、第2次子ども読書活動推進計画を社会教育委員会において立案することが決まりました。1回で作成することはできませんので、学習会を6回開催しました。委員の皆様にはご協力いただきありがとうございました。最後に開催した学習会から本日の会議までの間に、教育委員会や事務局の方で会議をされて出来たものがこの案だと思います。今日はこの会議がスムーズに進行することを願っています。併せて、本日の議題にはありませんが、私も関わっている「ふつつ学びの門実行委員会」が開催されまして、今年中に事業があります。5月の第2回目の会議で期日等が決まってくると思います。そこで色々出てきた内容で、皆さんにもご協力いただきたいこともあると思いますので一つよろしく願います。以上です。

事務局
(樋口課長)

ありがとうございました。

続きまして岡根教育長からご挨拶を申し上げます。

岡根教育長

[教育長あいさつ]

それでは一言ご挨拶をさせていただきます。

年度初めの会議では、このように挨拶させていただきました。「今年度は何と申しましても、図書館の開館という大変喜ばしい出来事で幕を開けることができました。図書館の設置という積年の課題に、ようやく一つの答えを提示することができたものと思っております。図書館整備基本計画の立案という重責をこの会議で担っていただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。小さくても小回りのきく、市民に愛着を持っていただき活用され成長する図書館ということで、それが大切だと思っております。委員の皆様には、いかに市民に活用していただけるかについてのお知恵をいただければと思っています。」そして、今回の会議は第2次富津市子ども読書活動推進計画についてでございます。学校教育において、本市では読書活動の推進を大きな柱にしております。それは児童生徒の読解力の向上を図るという目的、目標に沿ったものですが、現在に生きる子供達の環境を考えると、テレビとかパソコンなどから自動的に情報が入り込んでくる社会であります。その情報についても自分の必要とする情報を選択するというような形で、情報の選択についても課題が出てくるような時代です。そのような中で能動的に文字を追っていく力というのは今の現代、社会環境に対する一つの挑戦だと私は感じています。余程の力を入れられない限り、子供達はそういう力がついていかないと思っています。そこで、この計画案の「はじめに」というところをご覧いただきたいと思っております。下の方の段落ですけれども、「様々な情報メディア等の普及により、受動的に多くの情報が入る現代社会の中で、自ら文字を追って文章を読む、あるいは自分の考えを表現する能動的な読む力・書く力を向上させることは、どんな時代になろうとも、子供達が自分の力で将来を切り拓いていく基

	<p>礎になるものです。」という捉え方をしております。</p> <p>今後とも、この力を子供達が少しずつでも財産にしていてもらうように、それには本を読む楽しさを子供の時代に感じとっていただいて、習慣化することが大切なことだと思っています。非常に大きなことだと思っていますし、力を注いでいかなければ、なかなか推進できないものだと思っていますので、この子ども読書活動推進計画については、忌憚のないご意見をいただければと思っています。</p> <p>整いませんけれども、ご挨拶とさせていただきます。</p> <p>どうぞよろしくお願ひします。</p> <p>[議事]</p> <p>これより、議事に入ります。</p> <p>議事の進行につきましては、社会教育委員会議運営規則第3条第4項により、委員長が議長となる、とされていることから、高橋委員長に議長の職を務めていただきます。高橋委員長、よろしくお願ひいたします。</p> <p>高橋委員長</p> <p>それでは、ここからは、私が議事進行を務めさせていただきます。円滑な議事運営となりますよう、皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>議事に入る前に、会議録署名人2名の指名を行いたいと思います。</p> <p>慣例により私から指名することよろしいでしょうか。</p> <p>各委員</p> <p>(「異議なし。」の声あり。)</p> <p>高橋委員長</p> <p>ご異議もないようですので、会議録署名人は、宮内委員と嶋野委員を指名いたします。</p> <p>よろしくお願ひいたします。</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>事務局 (吉村係長)</p>	<p>それでは、議事に入ります。</p> <p>議事(1)「第2次富津市子ども読書活動推進計画(案)」について事務局の説明を求めます。</p> <p>第2次富津市子ども読書活動推進計画(案)についてご説明いたします。</p> <p>事前に配付させていただきました資料、「第2次富津市子ども読書活動推進計画(案)」をご覧ください。</p> <p>本計画(案)については、1月16日付けで書面にて素案を社会教育委員の皆さま方にお示しさせていただきましたが、その際に頂いたご意見、その後、教育委員の皆さま、庁内の関係各課から頂いたご意見等を踏まえ、所要の修正を加え、案として作成したものとなります。</p> <p>それでは、表紙をめくっていただき、目次をご覧ください。</p> <p>本計画は、子どもの読書活動の推進に関する法律に基づく計画で、本市では平成31年3月にはじめて策定した「富津市子どもの読書活動推進計画」の第2次計画となるものです。全4章で構成されておりまして、第1章では、本計画の趣旨、期間、位置づけ、第2章では第1次計画の成果と課題、第3章から第4章までが、第2次計画の方針や具体的な取組等となっております。</p> <p>1ページをご覧ください。</p> <p>「第1章 富津市子ども読書活動推進計画について」「1 計画策定の趣旨」ですが、子どもの読書活動は、人生をより深く生きる力を身に着けていく上で欠くことのできないものであることから、本市では、平成31年に「富津市子どもの読書活動推進計画」第1次計画を策定し、子どもたちが読書に親しむ機会を充実させ、自主的に読書に取り組めるよう読書環境の整備・普及活動を推進してきました。このたび、第1次計画の計画期間が令和5年度で終了することから、第1次計画</p>
-----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

の成果と課題を踏まえ、第2次計画を策定するものでございます。

2 ページをご覧ください。

「2 計画期間」ですが、令和6年度から10年度までの5年間とします。

「3 計画の位置づけ」ですが、本計画は「子どもの読書活動推進に関する法律」に基づく計画であり、策定にあたっては「富津市みらい構想」や「富津市教育施策」をはじめとする市の関連計画と整合性を図るとともに、SDGsの考え方を踏まえ、取組を実施していくこととしています。

3 ページをご覧ください。

本計画は、SDGsの17のゴールのうち、主として「4 質の高い教育をみんなに」の達成に貢献することを目指して取り組みます。

4 ページをご覧ください。

「第2章 富津市の読書活動の現状と課題」「1 第1次計画における目標指標の実績」ということで、第1次計画で掲げた基本方針毎に設定した評価指標と計画目標値、現状値をお示しさせていただいております。

表中の一番右の欄の現状値につきましては、一部の数値が見込み値、また令和6年1月末時点の数値となっておりますが、これについては、先日、令和5年度確定値及び令和6年2月末時点の最新の実績が整いました。

恐れ入りますが、本日配付させていただいた資料「目標指標の実績（新旧対照）」をご覧ください。

左側には現在、計画（案）に記載している1月末までの実績、右側に最新の数値を記載してございます。下線を引いてある数値について、計画最終案としてはその数値に修正をさせていただきたいと思っております。なお、数値の修正に伴う、計画内容や文言等の修正はございません。

それでは、計画（案）にお戻りいただき、5ページをご覧ください。

「2 第1次計画期間における成果」ですが、令和元年度から第1次計画に掲げた3つの基本方針に沿って、子どもの読書活動の推進を図ってきました。「(1) 子どもが読書に興味をもつ機会の提供」では、健康づくり課が実施する4か月児健診の参加者に対して絵本をプレゼントするブックスタートを実施したほか、生涯学習課の司書により「読み聞かせボランティア入門講座」を開講し、読み聞かせサークルの創出、活動の展開を促進しました。

6ページをご覧ください。

「(2) 子どもの読書活動の啓発・普及」では、市内小中学校において、10分程度の「朝の読書」の時間や、5のつく日を「読書の日」と設定して日常的に読書に取り組む体制を整え、また、国語の授業や総合的な学習の時間に学校図書館を活用し、図書を用いて分からないことを自分で調べる習慣をつけさせる取組などを行いました。生涯学習課では、広報ふつつや市ホームページ等を活用して、図書に関する情報など積極的な情報発信を行い、読書の推進を図りました。

「(3) 子どもがより多くの本を読むための環境整備」では、令和5年4月1日に市内図書施設の基幹館となる市立図書館をイオンモール富津内に整備したほか、小中学校においては、読書支援員を週1回5時間配置するなど、図書環境の整備に取り組みました。

7ページをご覧ください。

「3 第1次計画期間における課題」ですが、第1次計画に掲げた3つの基本方針のうち、「子どもの読書活動の啓発・普及」における、児童・生徒の読書活動を示す数値は、どれも目標値を下回っており、第1次計画策定時と比較しても読書が好きな子どもが減少傾向になっています。スマートフォンな

ど電子機器の利用時間の増加や生活環境の多様化によって、読書時間を確保できていないことが要因として考えられますが、中学生までに読書習慣が形成されないことが、その後の読書への興味・関心の低下につながる傾向があることから、小中学校において、読書の時間を確保し読書習慣を定着させていく機会の提供を根気よく続けていくことが大切だと考えます。

8 ページをご覧ください。

「第3章 第2次計画の基本的な方針」「1 基本方針」ですが、第1次計画の成果・課題を踏まえ、本市に住むすべての子どもたちに、読書のすばらしさを伝え、読書が楽しめる環境を整備していくことが重要であることから、第1次計画に引き続き、「子どもが読書に興味を持つ機会の提供」、「子どもの読書活動の啓発・普及」、「子どもがより多くの本を読むための環境整備」の3つの基本方針を掲げ、子どもの読書活動を推進する取組を実施していきます。

9 ページをご覧ください。

「2 計画の推進体制」ですが、子どもの読書活動推進に関わる各機関、部署は本計画を指針としながら推進事業の充実を図ります。また、計画推進にあたっては「富津市社会教育委員会会議」において、取組状況を分析するとともに内容の改善に努めることで読書活動のより良い推進を目指します。

「3 目標となる指標」ですが、本計画の達成状況等の点検・評価を行うために、令和10年度を目標年度とする目標数値を定めました。

「千葉県子どもの読書活動推進計画」や「富津市教育施策」の指標との整合性を図り、表のとおり7つの項目を成果指標として設定いたしました。第1次計画では、基本方針毎に指標を定めていましたが、各指標の達成には複数の基本方針や取組の成果が反映されることから、2次計画では、基本方針

ごとの区分はしないこととしました。

機関ごとの取組みの中で、指標の達成に向けた具体的な取組みを行っていきます。

また、ここでも表中の現状値に修正がございます。

先ほどの資料「新旧対照」の裏面をご覧ください。

下線部の現状値については最新の数値に修正させていただきたいと思っております。なお、3番の図書貸出券登録率及び4番の児童書の年間貸出冊数については、確定値が低くなりますが、令和5年度中の数値の伸び率を踏まえ、目標値は変更しないことといたしました。

資料、計画（案）にお戻りいただき、11ページをご覧ください。

「第4章 第2次計画の具体的な取組」ということで、11ページから15ページまで、第1次計画期間中の成果・課題及び3つの基本方針の観点に基づき、発達段階、各場面に応じた取組みをお示ししております。

「1 家庭における読書活動の推進」では、ブックスタート事業の実施や講座・健診時に読書の大切さの啓発などの取組みを行います。「2 地域における読書活動の推進」では、児童書の充実を図るとともに、子育て関係団体への団体貸出サービスなど配本サービスの活用を促進します。「3 就学前教育・保育施設における読書活動の推進」では、移動図書館車の巡回による図書館体験や読み聞かせ団体と連携した多様な読書携帯の提供など、子どもたちが本に親しむ機会の充実を図ります。

「4 小・中学校における読書活動の推進」については、学校図書館の整備充実を図るとともに、「朝の読書」をはじめ、日常的に読書の時間を確保し、読書習慣を定着させる取組みを行います。「5 公共図書施設における読書活動の推進」については、市立図書館を中心に市内図書施設と連携しながら、

	<p>様々な企画の実施や図書サービスの充実を図るとともに、図書の拡充等による環境整備に取り組みます。</p> <p>16 ページ以降は、関係資料ということで、本計画策定に係る関係法令、2次計画の評価指標としている「優秀・優良学校図書館」の認定基準となる評価シート、第1次計画期間内における読書活動の調査結果と分析を添付させていただいております。</p> <p>計画（案）についての説明は以上となります。</p>
高橋委員長	<p>事務局からの説明は終わりました。</p> <p>委員の皆さんから、ご意見、ご質疑を伺います。</p> <p>ご意見等ございますか。</p>
嶋野委員	<p>先ほど委員長の挨拶でありましたが、市立図書館が開館して9月に来館者10万人を突破したところですが、今現在は、どれぐらいの来館者数ですか。</p>
事務局 (伊藤社会教育 主事)	<p>18万人弱ぐらいの来館者数となっています。</p>
高橋委員長	<p>この数字は他市と比較して如何ですか。</p>
事務局 (伊藤社会教育 主事)	<p>人口が約4万人ですので、当初目標を人口の倍以上ということで10万人と設定していたわけですがけれども、商業施設の中ということもあり多くの方がご来館されており、また君津や木更津など市外の方も比較的多く来館されているという現状です。</p>
高橋委員長	<p>ありがとうございました。宮内委員どうぞ。</p>

<p>宮内委員</p>	<p>計画案2ページの「計画の位置づけ」ですが、策定に当たっては、みらい構想との整合性を図るとありますが、具体的にどのようにこれを実現できるような形に持っていくのか、具体的な活動という形でお聞かせいただければと思います。</p>
<p>事務局 (伊藤社会教育 主事)</p>	<p>2ページの計画体系図につきまして、左側が子どもの読書活動推進に特化した国の計画及び千葉県の計画でございまして本計画の指針となるものです。右側のみらい構想及び教育施策につきましては、みらい構想においては網羅的な計画ではございませんので関連のあるものとしてはブックスタートが取り上げられているという形になっています。富津市教育施策については成果指標や目標数値などの整合性が図られています。</p> <p>どのような取組を行うかという点につきましては、4章の具体的な取組でお示ししておりまして、こうした取組を中心に推進していく形となります。特に14ページ、15ページで記載している公共図書施設における取組は、前計画の策定時にはなかった市立図書館の取組が追加されておりまして、これまで実現が難しかった取組についても、標準としてできるようになったのではないかと考えております。この一つ一つの取組をどのように展開していくかにつきましては、それぞれ発信してまいりますので、取組実績等については、またご報告していきたいと思っております。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>ありがとうございました。私達も一生懸命、子供達のために頑張っていきたいと思っております。</p>
<p>石井委員</p>	<p>第2次計画案が、このような形になるまでのご苦勞に感謝申し上げます。ありがとうございました。自分も計画作成に携わらせていただいた中で、1次計画と比較してすごくスリ</p>

ムになって読みやすくなったなと思いました。先ほど事務局から説明がありましたように、9ページの目標となる指標、前計画では基本方針毎の目標値を定めていましたけれども、成果指標が相互に関係する点を見極めて、2次計画では基本方針毎に目標を定めずに、7つの集約した目標値を定められたことというのは、一歩前進した読書計画の見方ではないかなと感じました。それから12ページ、第4章、具体的な取組の小中学校における読書活動の推進ということで、教育委員会でも、読書活動の推進にかなり力点を置かれている中で、やはりこの計画が出来て終わりではなく、今後どのように推進していくか、いかに推進力を持っていけるかっていう点なんですけれども、具体的な共有の場、生涯学習課と学校教育課は両輪だと思いますので、学校教育課と情報共有する場を積極的に設けていただき、更に富津市の学校に勤めている職員であったり、児童生徒の保護者であったり、そういった方々にも具体的な形としてお示ししていただければありがたいなと思いました。念願の図書館ができて、1年で18万人の利用があって、当初は本当にあの場所に設置していいのか等、課題が多い中からの出発だったと思いますので、それを振り返ると、この1年間というのは非常に大変だったと思います。

最後に、この1年間の指定管理者制度を導入しての富津市立図書館について、教育委員会としてどのようなご苦勞があったのか、また、どのような成果があったのか差し支えない範囲で伺えれば、今後、社会教育委員の立場として協力させていただける部分があるかと思いますので努力していきたいなと思っております。以上です。

高橋委員長

事務局、如何ですか。

<p>事務局 (樋口課長)</p>	<p>貴重な意見ありがとうございます。</p> <p>図書館については指定管理者制度を導入して運営しているわけですが、まず4月1日のオープニングセレモニーから2日間で約5,000人近くの方がご来場されたという状況の中でも、混乱なく順調にスタートできたということが、やはり指定管理者の経験とノウハウが生かされたことだとまず思います。また、年間を通して様々なイベントが実施されております。これも指定管理者が全国で約500か所運営して蓄積されているノウハウを富津市の図書館にも注入した結果だと思えますし、ぬいぐるみのお泊り会ですとか、図書館に直接関連しないような遊びやゲーム感覚のイベントを行って、図書館に来たことのない方をどう図書館に引き込むかなども企画いただいていますし、そういった部分でも指定管理者の創意工夫が発揮されているとっております。</p> <p>今後の課題というところでは、まだ図書館に足を運んでいない市民の方も多くいらっしゃると思います。そういう方に向けてどのようにメッセージを発信していくか、様々な角度で啓発をしていきたいと思えますし、また、一度来たけど遠ざかっている方がいれば、再び足を運んでいただけるような、そういったところに特化したメッセージの発信、このようなことも必要だと思いますので、今年度の来館者が約18万人ということですが、まだまだ皆さんの声を聞いて、変わっていく、成長していくと教育長がおっしゃっているような形に近づけていけるように、指定管理者とPDCAサイクルを回しながら促進していくということが私の考えでございます。</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>杉田委員どうぞ。</p>
<p>杉田委員</p>	<p>私は社会教育委員を代表して図書館協議会に参加させてい</p>

ただいております。本来は、私が図書館協議会での内容について、細かいことを皆さんに意見を聞いていかないといけない立場だったんですけど、本日、皆さんから良いお話をいただきました。一昨年に教育長から図書館整備に当たって諮問いただき、社会教育委員で答申をまとめ上げる中で、いろいろな市民の声を聞き、苦しいときもありました。市民の皆さんが本当に関心を持っていろいろなご意見を言うてくださって、職員さん達も一生懸命考えてくださって、結果、市民の方から「図書館ができて良かったですね、ありがとうございます。」と、私事のように言っていただいて、本当にみんなで喜び合えて開館できた図書館だと感じています。

先日、図書館へ行きましたら、おそらくお父さんだと思いますが、小学生の子供2人と、3人でテーブルで勉強をしていたりとかそういう姿も目にしました。また少し前、大佐和中学校で「おはなし会」をしている方から声がかかりまして、私も参加させていただいております。中学生にはどんな本がおすすめなのか、図書館に行って職員さんに相談したら、とても対応が良くて、親切にいろんなことを教えてくださいます。最初に紹介された数冊は私も知っていて使っていたりしたのですが、帰り際に追いかけるように来て、新しい本でこれはと思うものを持ってきてくださいました。現場では少しずつ読書推進のために動きがあるし、その結果はなかなかすぐには数値に表れないかもしれませんが、富津市は図書館がなかった分、ボランティア精神が高いと思っていますので、熱意のある方達はたくさんいらっしゃいますので、教育委員会から発信していただいて、そういう方達にどんどん熱が届くと、更に皆さんがやる気を持って推進できると思いますので、よろしく願いいたします。

高橋委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>佐藤委員どうぞ。</p>
佐藤委員	<p>私は近隣の他の市でボランティア活動とかをしているんですけども、図書館ができて、ここでもボランティア活動ができるなってすごく喜んでいるんですが、やはり図書館はイオンの中にありますが、そこに来られない人たち、それから来たくても中々難しい人たちのことも、これから考えていく必要があるのかなって思います。</p> <p>袖ヶ浦市は「中央図書館」「長浦おかのうえ図書館」「平川図書館」の3館と公民館図書室が2室、計5施設で図書施設としての機能を果たせるように整備されています。ですから、富津市もやはり交通手段のない子供達、お年寄り、そういう方たちの交通手段をこれ以上なくさないように取り組んでいくということは必要じゃないかなって思います。</p> <p>やはり子供達が本を読むには、身近なところに本があってほしいですけど全部購入することは難しい、そうすると、それを補っていくのが図書館や公民館図書室の役割だと思います。他自治体によっては、移動図書館をスーパーとかにも配置しているところも結構ありますので、全国の様々な取組を見て、身近なところで本を借りられる、読める、そういうような環境を富津市も整備していただきたいなと思います。</p>
事務局 (樋口課長)	<p>おっしゃる通りで、まだまだ努力していかなければならないことはあると思います。現在、移動図書館が15ステーションを巡回していますが、例えば図書館になかなか行くことができないけど、移動図書館だったら近所に来るという場合、事前に図書館の本を予約してもらいますと、移動図書館で受け取るということもできます。窓口や施設に来られなくても、図書館の本は公民館や移動図書館を介して全部借りられると</p>

	<p>ということで、そういったサービスをお伝えしているのと、それと、たまたまイオンに行って買い物ついでに本を借りたけど、また返しに行くのが大変という場合でも、同様に返却できますということで、そういうアピールもしております。</p> <p>また、電子図書館ということで、まだまだ冊数は少ないんですけど、図書館に行かなくても、いつでもどこでも電子書籍を楽しめるということで、そちらについても啓発をしながら、皆さんが本に触れられないことのないように努めていきたいと思います。</p>
高橋委員長	<p>ありがとうございます。</p>
杉田委員	<p>次第6の「その他」で皆さんに伺おうと思っていたんですが、図書館協議会委員の立場で、社会教育委員の皆さんが図書館に対して実際何かご意見をお持ちだったら伺いたいんですが如何でしょうか。</p> <p>図書館にこんなことをしてほしいとか何かご要望とかご意見あれば伺わせていただければと思います。</p> <p>明日、図書館協議会が予定されてますので、このタイミングで少しでも伺うことができましたら委員の皆さんの意見を反映したいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
佐藤委員	<p>すぐにというわけではないですが、本や絵本を書いた著者の方に、実際にお会いしてお話を聞けたらなって思います。</p> <p>著者を囲む会というのですかね。</p>
高橋委員長	<p>他に如何ですか。</p>
岡根教育長	<p>図書館の話ではないですが、イオンの方から結構空きスペースがあると伺っています。もし図書館で講演会のような規</p>

	<p>模の大きいイベントを実施してほしいとか、広い場所が必要な事業でも実施できる可能性は十分にあります。イオンからも是非使っていただきたい旨を聞いていますので、そういったご提案も出していただければと思います。</p>
<p>杉田委員</p>	<p>そうですね。空いているスペースが最近ちょっとまたあるような気がします。</p>
<p>岡根教育長</p>	<p>図書館内にはイベントスペースはありませんが、イオンの中にはそういったスペースがありますので、意見がありましたら、是非出していただけたらと思います。</p>
<p>杉田委員</p>	<p>またそういった視点でも提案させていただきたいと思います。私も親子で取り組めるものとか、以前に上条さなえ先生の講演を企画してくださって、佐藤委員からのご意見もありましたように、講演会を開くというときに、やはり人集め、声かけ等大変だと思いますけれども、子供だけが大人だけとなるとなかなか難しいかもしれませんが、私個人としては、ブックトークのような、子供がワクワクしながら本のブックトークを聴けると、それをそばで見ている親も一緒にワクワクする、そこに申し訳ないんですけど、親子じゃないんですけど、私達のような一般の人間も一緒に聴けたり、それが「おはなし会」などに関わっている方たちの勉強の場にもなる、そのような提案を明日はさせてもらいたいなと思ったので、ありがとうございました。</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>他にご意見ありませんか。</p> <p>ご意見等もないようですので、ここで、お諮りしたいと思います。</p> <p>第2次富津市子ども読書活動推進計画（案）について、事務</p>

<p>各委員</p>	<p>局からの説明のとおり修正を行いまして教育委員会に提出することにご異議ございませんか。</p> <p>(「異議なし」との声あり)</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>それでは、事務局は本計画(案)を修正した上で教育委員会への提出手続きをよろしく申し上げます。</p> <p>[報告]</p> <p>次に、次第の5、「報告」に移ります。</p> <p>報告事項は4件ありますが、まとめて事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (吉村係長)</p>	<p>それでは、令和5年度の社会教育推進大会等についてご報告をさせていただきます。</p> <p>参考資料(1)をご覧ください。</p> <p>第58回千葉県社会教育振興大会ですが、10月4日(水)に千葉県総合教育センターにて開催され、高橋委員長、杉田副委員長、嶋野委員、石井委員、佐藤委員の5名が参加されました。「学びを通じた『人づくり・つながりづくり・地域づくり』の循環」をテーマに、午前中は社会教育専門講座「生涯学習実践研修会」ということで、法政大学教授で社会教育委員を務めたご経験もある久井英輔氏から「学習成果を地域に生かす」というテーマでご講演いただき、午後からは事例発表とテーマ別分科会が行われました。また、開会行事の中では、千葉県社会教育委員連絡協議会表彰が行われ、富津市から杉田副委員長と昨年度まで社会教育委員を務めていただいた森委員の2名が表彰されました。実践研修会でいただいた資料を添付してございますので、参考としていただければと思います。</p> <p>次に、参考資料(2)をご覧ください。</p>

第 54 回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会ですが、11 月 21 日と 22 日の 2 日間、栃木県宇都宮市の栃木総合文化センターをメイン会場として開催されました。「ウェルビーイングの実現に向けた社会教育委員の役割」を研究主題といたしまして、1 日目は記念講演やシンポジウムが行われ、2 日目は 5 つのテーマに分かれてそれぞれ分科会が行われました。

本研究大会には、君津地方社会教育委員連絡協議会の研修事業という形で、君津地方 4 市の社会教育委員 7 名で 2 日目の分科会のみに参加してきました。

また、分科会では第 4 分科会において、「地域資源を生かす社会教育の取組」というテーマで、高橋委員長と生涯学習課、伊藤社会教育主事により市立図書館の整備に係る取組事例を発表いただきました。次ページ以降に事例発表資料と分科会報告書を添付してございます。

次に参考資料（3）をご覧ください。

第 58 回君津地方社会教育推進大会ですが、1 月 28 日に木更津市の日本製鉄東日本製鉄所本館コミュニケーションホールで開催しました。君津地方 4 市の社会教育関係者約 150 名が参加し、大会テーマを「学び、つながる、社会教育」とし、千葉大学准教授の丹間康仁氏を招いて、ポストコロナ期におけるウェルビーイングを意識した地域の活性化について学びました。社会教育委員表彰では富津市から竹内委員、それから公民館運営審議会の川名委員長と石井委員が表彰され、また同大会内で開催された日本製鉄のクローバー賞では、本市の読み聞かせサークルの「おはなしの玉手箱」さんが表彰されました。大会冊子の写しを後ろに添付してございますので、参考にしてください。

社会教育委員の各種大会報告は以上となります。

<p>事務局 (長谷川館長)</p>	<p>続きまして、令和6年富津市二十歳の集いについて報告いたします。</p> <p>参考資料(4)をご覧ください。</p> <p>令和6年1月7日に富津市二十歳の集いが行われました。当日の出席者数は271名で、出席者数は昨年よりも減少となりましたが、出席率は72.5%で3ポイントの増となっております。</p> <p>式典の進行につきましては、旧中学校校区毎に2名ずつ選出された10名の実行委員により行われました。今年はフォトフレームを記念品とし、また、実行委員により企画された催しとして、「富津思い出ビンゴ」を実施しました。景品では、富津産の海苔やマザー牧場のお菓子、ふつつんのぬいぐるみなどが贈呈され、大いに盛り上がって式典の締めとなりました。</p> <p>式典の最後の記念撮影も大きな混乱もなく、スムーズに終え、実行委員の方々のご努力により無事成功に終わることができております。報告としては以上です。</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>事務局から報告がございましたが、何かご質問やご意見がありますでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>(質問・意見等なし)</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>[その他]</p> <p>意見等ありませんので、次第6、その他に移ります。</p> <p>委員の皆様から何かございますか。</p> <p>私から1点教えていただければと思います。</p> <p>「こどもと本を結ぶ会」から市に要望が提出されたということを知っていますが、どのような内容だったのでしょうか。</p> <p>また、要望に対して市はどのような回答をされたのでしょ</p>

<p>事務局 (吉村係長)</p>	<p>うか。</p> <p>手元に資料の用意がありませんので、この場で詳細なお答えができないのですが、昨年10月頃に「こどもと本を結ぶ会」から富津市の図書に関わる要望ということで、何点か要望事項がありまして、書面にて回答しております。</p> <p>内容といたしましては、図書貸出冊数の拡充、現状では6冊が上限となっておりますが、それをもう少し増やしてほしいということですか、図書館や公民館にも返却ポストを設置して、時間外でも返却ができるような対応を検討していただきたいといったことなどいくつか要望がありました。</p> <p>これを受けまして、図書館では休館日でも図書の返却できるよう、休館日には館外に返却ポストを設置するなど、早急に対応できるものは改善させていただきまして、また、検討に時間を要するものについては、その旨を書面にて回答させていただきます。</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>分かりました。ありがとうございました。</p>
<p>杉田委員</p>	<p>図書館協議会の中でも同じような意見というか要望が出されていたと思いますが、内容としては同じですか。</p> <p>図書館協議会委員にも「こどもと本を結ぶ会」から委員が選出されていますので、いくつか要望が挙げられていたと思います。</p>
<p>事務局 (吉村係長)</p>	<p>図書館協議会で挙げられた意見や要望以外の内容も何点かありました。</p>
<p>杉田委員</p>	<p>わかりました。それで、書面で回答していただいているのですよね。それが分かれば大丈夫です。</p>

高橋委員長	<p>今回の子ども読書活動推進計画を検討する学習会の中でも貸出冊数が10冊にならないかという議論があつて、市や図書館の見解は聞いています。返却ポストについても図書館協議会で要望がありましたか。</p>
杉田委員	<p>返却ポストについても意見がありまして、委員の皆さんも承知していますし、事務局には実現に向けて検討していただければと私も思っております。また、協議会では、市や図書館の対応が整えば、都度、報告いただいているので、引き続きよろしく申し上げます。</p>
高橋委員長	<p>他にございませんか。 事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>特にありません。</p>
高橋委員長	<p>無いようですので、以上で本日の議事はすべて終了いたしました。議長の職を解かせていただきます。議事進行にご協力いただきまして誠にありがとうございました。事務局へお返しいたします。</p>
事務局 (樋口課長)	<p>[閉会] 高橋委員長、進行ありがとうございました。 また、委員の皆様におかれましては長時間にわたりご審議をいただきありがとうございました。 以上をもちまして、令和5年度第2回富津市社会教育委員会会議を閉会といたします。 お疲れさまでございました。</p>